

はじめに



皆さんはどのようにして大阪の暑い夏を過ごしていますか。
エアコンをつける？ 扇風機をつける？ うちわであおぐ？
でも、エアコンの使いすぎは、地球温暖化やヒートアイランド現象の原因になり、
環境にやさしくありません。

そこで、緑のカーテン&カーペット!!

大阪市では、ヒートアイランド対策の一環として、緑のカーテン・カーペットづくりの普及に取り組んでいます。

ゴーヤ、アサガオ、フウセンカズラなどの緑のカーテン、サツマイモの葉による緑のカーペットなど、
緑を活かして夏の強い日差しをさえぎり、**涼しい風を呼び込みましょう。**

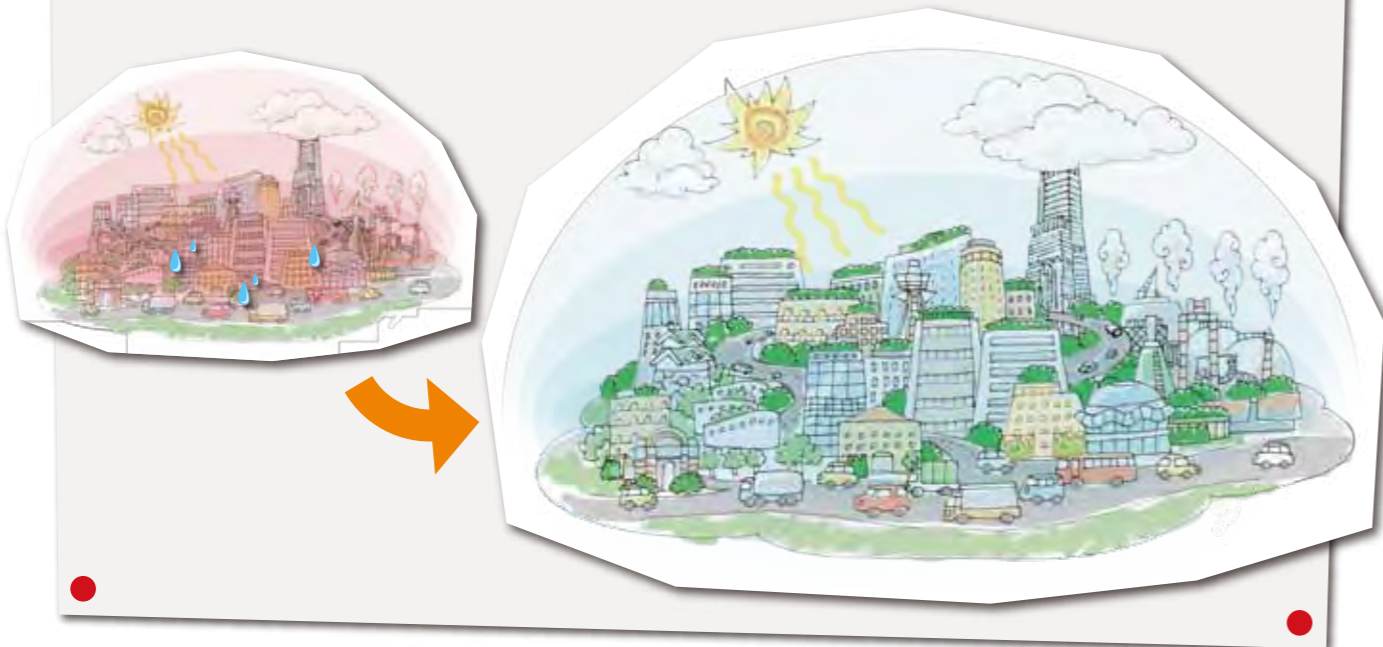
みなさんも、
「緑のカーテン&カーペット」を育てて、
大阪の暑い夏を涼しく過ごしませんか？

地球温暖化とヒートアイランド現象について

地球温暖化とは、石油や石炭の燃焼、フロン放出といった人類の活動に伴い、温室効果ガスの濃度が上昇し、地球全体として地表と大気の温度が上昇することをいいます。

一方、都市部では、クーラーや自動車からの排熱が多いのに加え、建物や道路が集中し緑や水辺が少ないために熱を蓄積しやすいので、郊外に比べて気温が高くなります。これをヒートアイランド現象といいます。

地球温暖化やヒートアイランド現象による気温の上昇は、夏の暑さを増幅させるだけでなく、サクラの開花日が早まるなど生態系へ影響を与えるほか、集中豪雨の原因ともいわれています。



緑

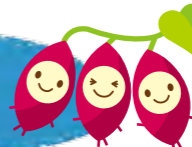
のカーテン・カーペットづくり?

緑のカーテンは、建物の窓際や壁を、ゴーヤ、アサガオ、フウセンカズラなどのツル性の植物でカーテンのように覆い、夏の強い日差しをさえぎるものです。

また、緑のカーペットは、サツマイモの葉で屋上をカーペットのように覆い、日差しをさえぎるものです。



なぜ涼しいんだろう？



日差しをさえぎる

窓から部屋に入り込む日差しをさえぎり、室内の温度の上昇を防ぎます。昼の日差しで暖められた壁も、夜に熱を放出し寝苦しい夜の原因となりますが、これも緑のカーテンで壁を覆うことで防ぐことができます。



蒸散作用

また、植物は根から吸い上げた水分を葉からたくさん出して蒸発させますが（蒸散といいます）、この時に空気から熱をうばうため、まわりの気温を下げ、涼しい風が室内に流れ込んできます。



植物の緑は、涼感やさわやかさを私たちの心にもたらしてくれます。
緑のカーテンごしには木漏れ日が差し込み、とても気持ちがいいですね。

+α (プラスアルファ) の効果



緑のカーテンづくりに使う主な植物

ゴーヤ

実はおいしく食べられます



種まき: 4~5月
苗植え: 5~6月
収穫: 7~9月

アサガオ

きれいな花を楽しめます



種まき: 5~6月
苗植え: 6月
開花: 8~9月

フウセンカズラ

フウセンのようなかわいい実がなります



種まき: 5~6月
開花: 7~9月

ヘチマ

へちま水をとったり、たわしを作ったりできます



種まき: 4~5月
収穫: 9~11月

パッションフルーツ

きれいな花が咲き、実もおいしく食べられます



苗植え: 4~5月
開花: 6~9月
収穫: 8~11月

ヒョウタン

果実は容器などの工芸品に利用されています



種まき: 4~5月
開花: 7~10月

ツルムラサキ

つる先は栄養野菜として食べられます



種まき: 5~6月
収穫: 7~10月

トケイソウ

きれいな花を楽しめます



苗植え: 5~6月
開花: 6~10月